

2026年2月14日地球物理学教室同窓会講演概要

【退職教員記念講演】

「異常気象を伴う大気循環偏差の形成メカニズムと
予測可能性」

向川 均 教授（地球物理学教室・大気圏物理学講座）

【概要】

私は、ブロッキングに代表される、対流圏中高緯度で異常気象を引き起こす半球あるいは領域規模の、準定常的で再帰性を持つ特徴的な大気循環偏差の形成メカニズムとその予測可能性に興味を持って研究を進めてきました。まず、簡略化した大気力学モデルを用いて、カオス的な非周期運動で、秩序構造を持つ大気循環偏差が出現する力学的根拠を検討しました。また、大気循環偏差の形成に伴う大気運動の予測可能性変動や、冬季成層圏循環偏差が異常気象発生に及ぼす影響などについても解析してきました。本講演では、研究の契機となった様々な出会いにも焦点を当て、これまでの研究の軌跡を振り返りたいと思います。

